



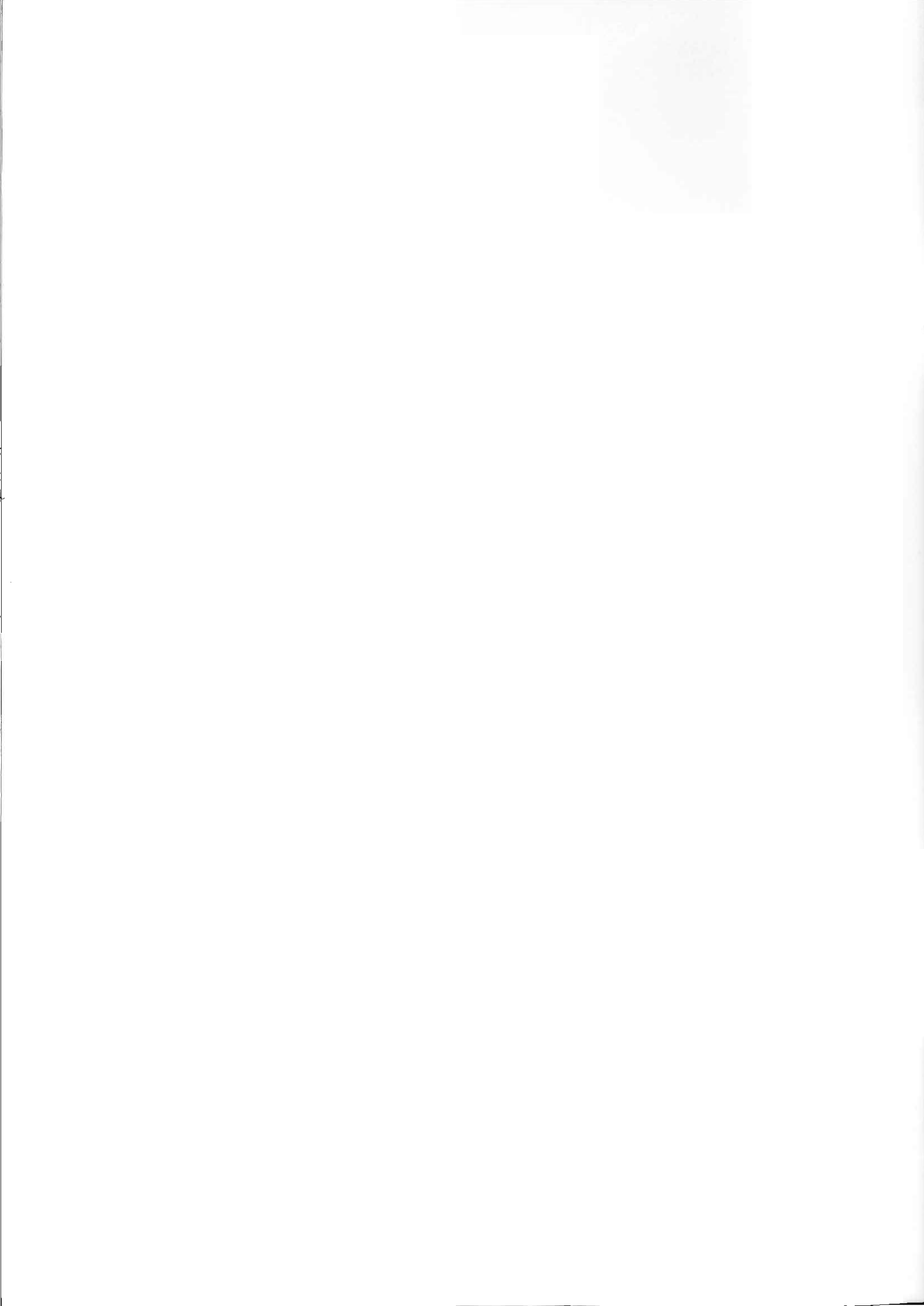
大妻女子大学

総合情報センター
年報

第2号



2009年度



総合情報センター一年報 第2号 目次

巻頭言 図書館の集客

総合情報センター所長 栗原 裕	3
2009年度総合情報センター業務報告	4
2009年度総合情報センター〈図書館グループ〉業務報告	6
2009年度総合情報センター〈メディア教育開発グループ〉業務報告	16
2009年度総合情報センター決算報告	21
2010年度総合情報センター事業計画予算採択結果について	22
2009年度総合情報センターの組織とスタッフ	23
大妻女子大学総合情報センター規程	24
大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程	25
総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ 沿革	26
総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧	28
2009年度総合情報センター運営委員	32



● ● ● 巻頭言 図書館の集客 ● ● ●

総合情報センター

所長 栗原 裕

近年ますます利用者が減少しているのではないか。昨年度、学長主唱の4懇談会の一つ、学生サービスの改善に関する懇話会において、「本学の図書館の活性化について」という項目のもとに相当活発な意見が交わされた。たまたま図書館関係者の同席していない場であったから、事実確認の十分でないままに、ほとんど炎上とでも形容できるほどに刺激的であったらしい。数回の審議要録を遡って拝見すると、日々営々努力を重ねている物静かな図書館職員の傷つくような心ない発言もあって閉口したが、それでも図書館に対する熱い思いが伝わり、重く受けとめた。

図書館の利用者が減少しているという心配に関しては、心配される方々が足繁く図書館に通ってくださり、ついでに学生たちを引き連れて、あるいは差し向けてくだされば、往年の利用状況に戻ることが確実である。このことはわかりきった話であるが、心配されながらも、このこと自体が困難になっているということだ。図書館に足を運ばなくても、電子媒体の便宜の圧倒的増大によって用がたりてしまうからである。ただ、図書館に対しては往年の賑わい（それがあったとして）を呈し続けてほしいという希望が強いのである。

数年前、東京女子大学図書館の関係者が本学の図書館を視察に来られた。図書館改修のための参考にされたのであろう。文部科学省の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択され、新装なった東京女子大学図書館は超有名となり、今や視察が途絶えないほどであると聞く。朝日新聞も取材に訪れ報じているほどである。

眼目は「滞在型図書館」にするという思想である。パソコンを大量に配備するメディアスペース、飲食を可とするリフレッシュルーム、グループ学習のできるコミュニケーションスペース、企画発表会に使えるプレゼンテーションルーム、個室閲覧ブースも。要するに用途に応じて多様な使い方ができる場を提供するというもの。それにも増して重要なのが、運営に学生を巻き込むシステムを作り上げたことであろうと思う。ちょっとした学習相談に応ずる大学院生学習コンシェルジェ、情報機器の扱いに困ったときに相談できる学部生システムサポーター、さらに多数のアルバイトの学生サポーターとボランティア。これによって利用者が圧倒的に増大したという。公立図書館もまた状況は同じで、就職情報、ビジネス実務情報、医療情報などを目玉に集客を競い合っている。

さる6月私立大学図書館協会、東地区（日本を東西に2分）部会の館長会というのに出席し、各大学図書館長の大学図書館をどう活用しているかの苦勞話（ならびに自慢話）に接した。その後の研究講演会では、10年後の大学図書館の姿がテーマであった。根拠ある予測では、10年後大学図書館の研究支援機能は失われているだろう、教育支援機能も失われているだろう、ただ教育機能だけが残っているだろう、というのに驚かされた。

2009年度 総合情報センター業務報告

1. 運営委員会

平成21年6月6日（土）に平成21年度第1回総合情報センター運営委員会を開催した。

図書館及びメディア教育開発の各グループから平成20年度業務報告・決算報告がなされ、平成21年度業務計画・経常費予算案・図書館図書予算案が承認された。

次いで、第2回総合情報センター運営委員会を9月17日（木）に文書回覧で行い、平成22年度事業計画予算申請（案）が承認された。

2. 2009年度 私立大学等経常費補助金について

総合情報センターでは高度情報化推進メニュー〔情報通信設備（借入）支援、教育学術情報ネットワーク支援、教育学術コンテンツ支援、教育研究情報利用支援〕の補助申請を行ってきた。

平成21年度より「リース取引に関する会計処理の変更」に伴い、情報処理関係設備における所有権移転外ファイナンス・リースの会計処理が「経費処理」から「資産処理」に変更され、今までの算定方法では補助金上の対応が困難となり契約形態を問わない補助の仕組みが必要となった。そのため算出方法として平成20年度までの「所要経費の2分の1以内の補助」から学生数、コンピューター等の台数、ソフトウェア本数などの「員数」に「単価」を掛け合わせる方式に変更された。

平成21年度は「ICT活用教育研究支援」として以下の項目について申請を行った。結果、補助金内示額は前年度に比較して大幅な増額がなされた。

（単位：円）

項 目	内示額（*）	
1. 情報通信設備を活用した教育研究		
①情報通信設備の基盤整備及び維持	140,118,000	大学：122,926,000 短大：17,192,000
a) 電子計算機状況		
b) マルチメディア化及びネットワーク化		
②教育研究情報電子化	2,874,000	
2. 大学独自のデータベースを活用した教育研究	254,000	
合 計	143,246,000	

* 日本私立学校振興・共済事業団の内示による



3. 研究者データベースの構築

総合情報センターと広報戦略室の協同事業として、研究者データベースの構築を行った。

この事業は、本学より学外へ向けた情報発信の一環という側面の他、かねてから懸案事項となっていた「学内で共同研究者を探す際、他の教員が具体的にどのような研究を行っているか知る術が無い」という問題の解決手段として企画されたものであった。しかしながら、平成23年4月1日より施行される改正学校教育法施行規則（文部科学省令）により、全ての大学はその教育研究活動等の状況について情報を公開することが求められており（学校教育法施行規則第172条の2〔新設〕）、その具体的な項目の一つとして「教員組織及び教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること」が挙げられたことを鑑みると、この時期に本事業へ取り組んだ事は適当であったと考えられる。

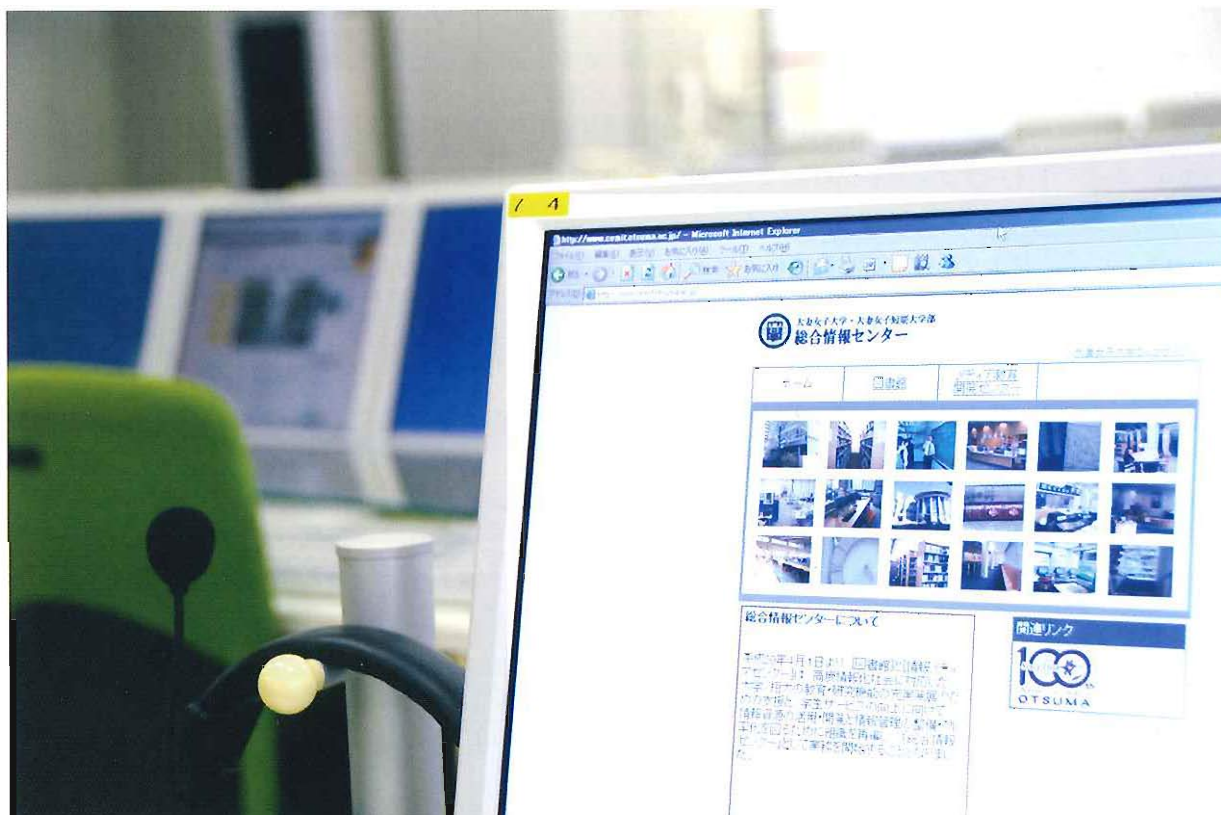
このデータベースは、本学が高等教育機関として、社会に対する説明責任を果たす際、その役割の一部を担うものである。

（参考）学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について

http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1294750.htm

4. 総合情報センターホームページ維持・管理

総合情報センターURL 〈<http://www.cemit.otsuma.ac.jp/>〉を参照のこと。



2009年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

■ 図書館グループ

業務記録 (2009/4/1 ~ 2010/3/31)

日付	業 務	キャンパス
4/13~4/24	図書館見学ツアー、OPAC説明会	全館
4/21	第1回文系図書委員会(陪席)	千代田
5/11~5/29	データベース検索入門	千代田・多摩
6/6	第1回総合情報センター運営委員会	
6/18	第1回家政系図書委員会(陪席)	千代田・多摩
6/21	オープン・キャンパス	千代田・多摩
6/23	丸善140周年記念万年筆「檸檬」のパッケージに当館所蔵の梶井基次郎草稿「秘やかな楽しみ」を使用	
7/19	オープン・キャンパス	千代田
7/22~9/25	夏休み貸出	全館
7/26	オープン・キャンパス	多摩
7/27	文系・社会情報・比較各学部紀要の電子化公開(CiNi)	全館
8/2	オープン・キャンパス	多摩
8/9	オープン・キャンパス	千代田
8/16	オープン・キャンパス	多摩
8/31~9/8	図書館システム変更のため休館	全館
9/9	図書館新システムE-CatsLibrary稼働開始	全館
9/13	オープン・キャンパス	多摩
9/17~9/30	第2回総合情報センター運営委員会(文書回覧)	
9/24~10/16	新システムOPAC利用説明会	全館
10/4	オープン・キャンパス	千代田
10/14	携帯OPAC利用開始	全館
10/17	日本文学科・国文科主催「貴重書・新収図書資料展」へ資料貸出	千代田
11/5~11/6	日本文学科・千代田区立図書館連携事業「古書販売目録と大妻女子大学所蔵資料」展へ資料貸出	千代田
12/8~1/15	冬休み貸出	全館
12/9	MyOPAC利用開始	全館
3/1~4/16	春休み貸出	全館
3/4	第5回文系図書委員会(陪席)	千代田



丸善140周年記念万年筆「檸檬」



古書販売目録展—千代田区立図書館—

図書館システム変更の経緯について

図書館システム検討委員会

図書館では、平成6年11月以降、図書館システム「CALIS（キャリス）」（京セラ丸善システムインテグレーション）を使用してきた。「CALIS」は、フルカスタマイズ方式のシステムで、必要な機能はその都度開発依頼して運用してきたが、近年、本学図書館では実現できていないが他大学のほとんどで提供されている機能（Webによる購入依頼や貸出情報照会等）を求める声が、図書館利用者と職員の両方で高くなっていった。

そのような要望をカスタマイズによってCALISで実現するためには、相当なコストと時間が見込まれるため、むしろ、それらの機能を標準装備しているパッケージ方式の図書館システムを導入した方がコストパフォーマンスが高いと判断し、平成21年CALISのリース満了を機に、パッケージ方式の他システムへ変更することを計画した。

平成19年10月、図書館システム選定ワーキンググループを立ち上げ、各種システムの展示会に参加し、情報収集を開始した。次に、次期システムで必要とされている機能をまとめた要求仕様書を作成し、その要求仕様書に基づく見積書の作成を、主要図書館システムベンダー数社に依頼、その見積金額を基に第一次選定を行い、選定に残ったベンダーのデモンストレーションを全職員で閲覧し、並行して要求仕様と見積金額の調整を再度行った。

最終見積金額を比較検討し、デモンストレーションに参加した職員の意見を統合した結果、パッケージ方式の図書館システム「E-CatsLibrary（イーキャッツライブラリ）」（NEC）を、次期図書館システムとして導入することを決定、平成21年度事業計画（平成21年1月中旬に着手したい旨注記）に申請した。

決定にあたっての主な理由は以下の4点である。

1. コストパフォーマンス

標準機能が豊富であり、本学で必要とする機能の大半を含んでいるため、新たに独自に追加しなければならない機能が少ない。

2. 導入実績の多さ

CALISからの移行実績も他ベンダーと比べて豊富であり、信頼性も高い。

3. インターフェース

基本的な操作はブラウザのみで動作するため、操作が簡易である。

4. 利用者サービスの向上

Webからの図書購入依頼や文献複写依頼、リアルタイムでの貸出状況・予約状況・新着資料等照会、図書館利用者ポータル、携帯電話OPAC、横断検索等の機能を追加することができる。

平成21年2月からNECとシステム設定の検討を重ね、6月「CALIS」からのデータ仮移行、7、8月テスト環境での動作確認を経て、9月9日「E-CatsLibrary」本運用を開始した。

その後、10月携帯用OPAC、12月MyOPAC（画面から図書の予約・取り寄せができる、新着資料の受入情報を自動通知するメールの設定ができる、などの個人用ページ）、平成22年4月統合検索（複数のデータベースを、一つの画面から統合的に検索できるシステム）などのサービスを順次スタートさせ、利用者サービスの充実を図っている。

今後も、MyOPACからのNACSIS-ILL（図書館間相互貸借サービス）申し込み、統合検索の検索対象追加など、新しい利用者サービスを提供していきたい。

2009年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

展示記録 (2009/4/1 ~ 2010/3/31)

日付	展示テーマ
4/6 ~ 4/19	広重名所江戸百景 - 春の花景色
4/20 ~ 5/26	広重名所江戸百景 - 初夏
4/21 ~ 6/17	〈ミニ展示〉 大学生活応援
5/28 ~ 6/30	生誕100周年 太宰治
5/28 ~ 6/17	〈ミニ展示〉 直木三十五と直木賞受賞作品
6/21	オープンキャンパス貴重書展示
7/3 ~ 7/17	マザーグース
7/3 ~ 7/31	〈ミニ展示〉 映画の中のマザーグース
7/19	オープンキャンパス貴重書展示
7/20 ~ 8/4	梶井基次郎
8/3 ~ 8/28	〈ミニ展示〉 活躍する本学卒業生
8/9	オープンキャンパス貴重書展示
8/10 ~ 8/28	広重名所江戸百景 - 夏・祭・花火
9/9 ~ 9/30	小杉小二郎「巴里十二景」
10/4	オープンキャンパス貴重書展示
10/24	オープンキャンパス貴重書展示
10/26 ~ 11/14	広重名所江戸百景 - 紅葉
11/16 ~ 12/5	よみがえった源氏物語絵巻
12/7 ~ 12/26	広重名所江戸百景 - 年の瀬
12/7 ~ 1/30	〈ミニ展示〉 お江戸さんぽ
1/7 ~ 1/30	広重名所江戸百景 - 正月の風物詩
2/8 ~ 3/6	豪華挿絵本 - 黄金時代の挿絵本
3/8 ~ 3/24	広重名所江戸百景 - 江戸の観梅



図書館統計

1. 図書所蔵数

2010.3.31現在 (単位:冊)

	千代田	狭山台	多摩	合計
和書	142,330	86,552	95,395	324,277
洋書	37,732	20,144	26,004	83,880
合計	180,062	106,696	121,399	408,157

※雑誌製本を除く

今年度末、図書資料の各図書館と全体の蔵書数を表す。



2. 配置別図書受入数

(単位:冊)

	和書	洋書	雑誌製本		消耗		千鳥会	合計	
			和	洋	和	洋			
千代田	1,910	412	564	303	313	9	375	3,886	(75)
狭山台	430	7	36	3	224	0	169	869	(21)
多摩	2,245	206	168	138	518	0	342	3,617	(22)
合計	4,585	625	768	444	1,055	9	886	8,372	(118)

※ () 内は寄贈図書

3館別の受入冊数。今年度は千代田校、多摩校で和書の購入数が大幅に減っている。多摩校で文庫・新書を多く購入する傾向、全体に洋書の購入数が少ない傾向は変わらない。

3. 分類別図書受入数

(単位:冊)

	和書				洋書				合計
	千代田	狭山台	多摩	計	千代田	狭山台	多摩	計	
総記	111	19	103	233	11	2	11	24	257
哲学・心理学	93	44	120	257	7	0	16	23	280
歴史・地理	226	48	270	544	33	2	34	69	613
社会科学	490	160	658	1,308	62	1	12	75	1,383
自然科学	119	68	175	362	3	0	1	4	366
工学	96	54	245	395	31	1	28	60	455
産業	28	14	80	122	9	0	6	15	137
芸術・体育	94	53	208	355	6	0	20	26	381
言語	148	13	180	341	109	0	38	147	488
文学	833	197	603	1,633	142	1	40	183	1,816
その他	360	153	463	976	8	0	0	8	984
合計	2,598	823	3,105	6,526	421	7	206	634	7,160

今年度の新取図書を日本十進分類法(NDC)によって分類したものである。全体に購入数が減ったなかで言語・文学系の図書は昨年度より増えている。

2009年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

4. 図書受入数の推移

(単位：冊)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
和 書	千代田	3,467	3,700	3,892	3,913	2,598
	狭山台	1,028	889	1,516	987	823
	多 摩	3,092	2,939	4,473	4,714	3,105
	計	7,587	7,528	9,881	9,614	6,526
洋 書	千代田	1,156	758	630	454	421
	狭山台	44	32	50	15	7
	多 摩	492	579	234	621	206
	計	1,692	1,369	914	1,090	634
合 計		9,279	8,897	10,795	10,704	7,160

※雑誌製本を除く

2007・2008年度は特に受入数が多かったのだが、今年度はそれ以前の2005・2006年度と比べても受入数が少ない。これは近年例がないほど高額資料を多く購入したためである。

5. 視聴覚資料所蔵数

2010.3.31現在 (単位：点)

	視聴覚資料
千代田	1,782
狭山台	866
多 摩	3,974
合 計	6,622



6. 視聴覚資料受入数

(単位：点)

	CD	ビデオテープ	DVD	合 計
千代田	13	18	177	208
狭山台	3	0	1	4
多 摩	57	17	176	250
合 計	73	35	354	462

7. その他資料受入数

(単位：点)

	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	CD-ROM	DVD-ROM	合 計
千代田	2	2	15	3	22
狭山台	0	0	1	0	1
多 摩	0	0	17	3	20
合 計	2	2	33	6	43

視聴覚資料を媒体ごとにみると、DVDを除き例年と同じような割合で増えている。DVDの受入数が例年より多いのは千代田・多摩両校とも共通費に少々余裕があったため、以前からリクエストがあるものの予算が確保できず購入できなかった資料が収集できたためである。

8. 所蔵逐次刊行物タイトル数

2010.3.31現在 (単位:種)

	千代田	狭山台	多摩	タイトル合計
和雑誌	3,154	1,130	1,384	4,771
洋雑誌	699	492	451	1,472
合計	3,853	1,622	1,835	6,243

※タイトル合計は重複を除く

9. 継続購入逐次刊行物分類別タイトル数

2010.3.31現在 (単位:種)

	和雑誌				洋雑誌				タイトル合計
	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	
総記	78	26	61	124	32	4	18	42	166
哲学・心理学	6	2	14	17	11	1	16	25	42
歴史・地理	10	2	16	23	8	0	15	23	46
社会科学	106	25	87	166	46	0	48	85	251
自然科学	40	3	24	54	40	0	14	51	105
工学	46	13	26	71	26	1	7	32	103
産業	6	4	9	16	5	0	1	6	22
芸術・体育	34	4	14	41	6	0	5	11	52
言語	17	6	7	18	58	0	5	59	77
文学	69	18	24	71	55	0	5	59	130
合計	412	103	282	601	287	6	134	393	994

※タイトル数およびタイトル合計は重複を除く

10. 契約電子ジャーナル・データベース

契約電子ジャーナル	契約データベース
Science Direct JSTOR EBSCOhost/Academic Search Elite	<p>新聞記事等</p> <p>聞蔵IIビジュアル 毎日Newsパック ヨミダス歴史館 日経テレコン21 Library PressDisplay JJI-Web</p> <p>雑誌論文等</p> <p>大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 Web版 日経BP記事検索サービス JapanKnowledge+NR メディカルオンライン 第一法規法情報総合データベース Literature Online MLA International Bibliography Literature Resource Center ProQuest Dissertations & Theses (人文社会系) Marquis Who's Who on the Web Books in Print with Book Reviews Women and Social Movements, in the United States 1600-2000</p>



電子ジャーナル・データベースはコンテンツの充実にとともに利用料金が引き上げられるものがある。今年度契約したもののうち半数以上が高額資料一覧に載っている。

新聞記事データベースを主として日本語のデータベースは学生・教職員を問わずよく利用されているが、非日本語の電子ジャーナル・データベースは学生に敬遠されがちである。図書館では「データベース検索入門」と題した講習会を開催しているので、その講習会などを通し非日本語データベースの利用も促進したい。

2009年度 総合情報センター (図書館グループ) 業務報告

11. 図書費決算報告

2010.3.31現在 (単位:円)

		予算額	執行額	残額
家政系	被服学科	3,341,000	2,614,810	726,190
	食物学科	3,393,000	3,138,233	254,767
	児童学科	3,354,000	2,971,875	382,125
	ライフデザイン	3,288,000	2,462,226	825,774
	短大・家政科	300,000	290,453	9,547
文系	日本文学系	19,300,000	19,299,997	3
	英文系	18,887,000	18,653,650	233,350
	コミュニケーション	7,532,000	7,456,380	75,620
文系・家政系共通		9,114,000	8,195,690	918,310
多摩	社会情報学部	8,545,000	8,427,309	117,691
	人間関係学科	3,579,000	3,142,578	436,422
	人間福祉学科	2,084,000	1,933,319	150,681
	比較文化学部	15,627,000	15,399,135	227,865
	共通	6,076,000	5,540,373	535,627
附置研		1,500,000	931,406	568,594
図書館		11,693,000	8,313,257	3,379,743
合計		117,613,000	108,770,691	8,842,309

※生活科学資料館：81,320円は図書館を含む

※特別加算（補助金データベース収入）：4,095,000円は図書館を含む

12. 高額資料一覧

(単位:円)

形態	書名	数量	金額(税込)	配置
原稿	梶井基次郎未定稿	一式	3,100,000	千代田
和書	近代詩誌コレクション	一式	3,000,000	千代田
マイクロフィルム	The Rearmament of Japan	2パーツ	1,900,000	千代田
データベース	Literature Resource Center	1アクセス	1,041,310	
データベース	日経テレコン21		1,018,500	
データベース	Books in Print with Book Reviews (2009・4~2010・3)	4ユーザー	891,460	
データベース	聞蔵IIビジュアル	2アクセス	876,960	
データベース	Academic Search Elite	フリー	840,000	
データベース	Books in Print with Book Reviews (2010・4~2011・3)	4ユーザー	837,616	
データベース	Literature Online-theComplete Collection	4ユーザー	724,500	
データベース	Literature Online-theComplete Collection (2010・4~	4ユーザー	724,000	
データベース	日経BP記事検索サービス大学版	フリー	630,000	
データベース	Japan Knowledge+	2アクセス	554,400	
原稿等	高村光太郎自筆原稿・葉書	一式	550,000	千代田
和書	狂歌類題弄花集	一式	550,000	千代田
データベース	MLA international bibliography	1アクセス	520,600	
データベース	ProQuest Dissertations & Theses		470,216	
データベース	JJJI Web	2アクセス	453,600	
データベース	JSTOR		437,054	
データベース	Press Display	3ユーザ	327,484	
和書	山田寿夫旧蔵資料	一式	315,000	多摩
データベース	インターネット版 現行法規		315,000	
合計			20,077,700	

30万円以上で購入した資料を掲載した。今年度はデータベース契約が多く高額資料の2/3以上がデータベースである。ただし購入額中データベースが占める割合は半分程度にとどまる。



梶井基次郎未定稿

13. 開館日数

(単位：日)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
千代田	282	281	287	289	280
狭山台	263	263	269	273	262
多摩	280	280	287	290	280

14. 入館者数

(単位：人)

	2007年度	2008年度	2009年度
千代田	50,728	56,106	57,297
狭山台	18,522	22,638	18,069
多摩	51,532	51,986	49,496

今年度も日曜日のオープンキャンパスや祝日授業日、夏季・冬季休業中に開館した。しかし図書館システムリプレースのための休館があり、例年並みの開館日数を確保できなかった。

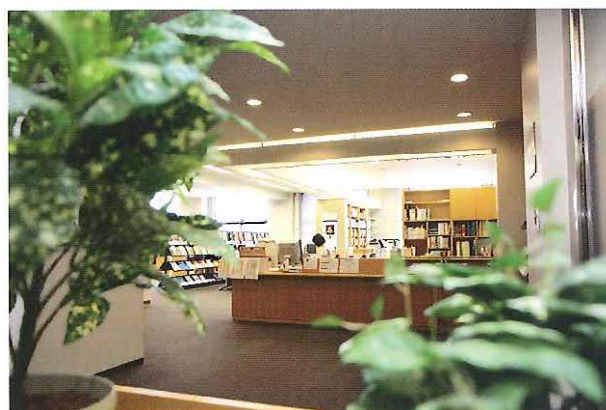
15. 学部別館外貸出人数

(単位：人)

家政学部	文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	短期大学部	大学院
4,071	5,142	1,686	2,646	2,390	1,815	185

16. 貸出冊数推移

	年度	冊数	人数
千代田	2005年度	15,264	8,613
	2006年度	14,297	7,972
	2007年度	15,433	8,680
	2008年度	16,798	9,197
	2009年度	17,222	9,602
狭山台	2005年度	4,453	2,604
	2006年度	3,802	2,068
	2007年度	3,481	2,076
	2008年度	5,285	3,035
	2009年度	4,682	2,710
多摩	2005年度	12,949	6,844
	2006年度	13,909	7,347
	2007年度	14,798	7,675
	2008年度	14,836	7,630
	2009年度	13,951	7,346



2007・2008年度に引き続き、今年度も千代田校での貸出利用が増加した。これはシステムリプレースの休館に備えて事前に貸出するよう利用者に勧めたことと、休館中貸出10冊が定着したことによる。

2009年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

17. 逐次刊行物利用統計

所 属		冊 数	人 数	
千代田	家政学部	被 服	76	18
		食 物	124	40
		児 童	151	26
		ライフデザイン	17	7
	文 学 部	日 文	1,010	354
		英 文	49	20
		コ ミ 文	324	79
	多 摩		11	5
	短 大	家 政	36	4
		国 文	188	103
		英 文	13	4
	大 学 院	家 政 学	34	16
		文 学	144	26
社会情報		0	0	
	人間関係	0	0	
	教 職 員	403	103	
	そ の 他	259	51	
	小 計	2,839	856	
多 摩	社会情報学部	242	193	
	人間関係学部	439	243	
	比較文化学部	325	89	
	千代田	1	1	
	大 学 院	家 政 学	0	0
		文 学	0	0
		社会情報	0	0
		人間関係	27	12
		教 職 員	116	46
		そ の 他	66	27
	小 計	1,216	611	
合 計		4,055	1,467	

※バックナンバーのみ
※狭山台校は開架のため統計実施せず
※その他には中高・非常勤含む

2008年度に比べ逐次刊行物利用が減少したのは、CiNiiや機関リポジトリの充実と、それらのデータベースを活用することが利用者に浸透したことによる。

18. 視聴覚資料利用点数

(単位：点)

	ビデオテープ	CD	DVD	LD	音声テープ	合 計
千代田	25	21	294	0	0	340
狭山台	42	12	135	5	0	194
多 摩	135	13	447	0	0	595

※所蔵・持込合計

多摩校の視聴覚資料利用数が多いのは、所蔵数が多いことに加え、授業の教材として積極的に活用されているためである。

19. 学外相互協力

(単位：件)

		2007年度			2008年度			2009年度		
		紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借
千代田	依頼	34	102	2	40	75	4	18	86	3
	受付	29	111	0	34	75	0	22	62	0
狭山台	依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受付	0	0	0	0	0	0	0	1	0
多摩	依頼	31	279	6	14	213	13	13	90	9
	受付	2	16	0	1	16	0	2	6	0
合計	依頼	65	381	8	54	288	17	31	176	12
	受付	31	127	0	35	91	0	24	69	0

※謝絶を含む

今年度、多摩校の学外文献複写依頼件数が2008年度に比べ半数以下に減少した。これはCiNiiや機関リポジトリで公開される論文数が増加したことにより、学外の協力機関へ複写依頼をせずに論文を入手できるようになったためと考えられる。



2009年度 総合情報センター 〈メディア教育開発グループ〉 業務報告

■ メディア教育開発グループ

1. 授業支援

メディア教育開発グループでは、3キャンパスの語学関係教室（CALL・LL）、視聴覚教室、情報処理実習室、情報処理自習室や授業用情報システムの維持・管理・運用を担当し、それらの施設・設備を利用して行われる授業や学生の自発的学習が効率的、効果的に行われるよう以下の支援を行った。また、学内システムの内、教育用情報システムについてはメディア教育開発グループが担当しており、そのために必要なネットワークの維持・管理・運用を行った。視聴覚機器やパソコン、ネットワークなどに関する教員・学生からの問い合わせ（学生指導含む）については、ヘルプデスクで対応した。

1) 情報処理・語学関係実習室における授業への支援

[支援内容]

《キャンパス共通》

- ・ 情報処理関連教室の維持管理、運用
- ・ 統合認証システム（ADサーバ）維持管理、運用
- ・ 学内システム利用アカウント（教員等）の発行、管理
- ・ ファイルサーバ（学生用・教員用ホームフォルダ、Publicフォルダ設定、管理）
- ・ 教員貸出用大妻Webメールアカウント管理 ・ 学生からの質問、問い合わせへの対応
- ・ 教員及び助手からの質問、問い合わせへの対応 ・ プリント履歴システム管理、運用

《千代田キャンパス、狭山台キャンパス情報処理教室、情報処理自習室関係》

- ・ 授業補佐
- ・ 情報処理関係科目（教養教育）担当授業補助員のリクルート及び労務管理
- ・ 情報処理教室、情報処理自習室ホームページ（教室利用の手引き）更新

《多摩キャンパス情報処理実習室関係》

- ・ 人間関係学部棟情報処理・LL教室（2教室）の更新
- ・ 実習室ホームページ更新
- ・ 教師用「実習室利用の手引き」作成

[教室使用状況]

千代田校	前 期	後 期
情報処理教室 (4教室 [232, 235, 370, 373])	59時限/週	55時限/週
CALL教室 (1教室 [271])	11時限/週	11時限/週
多摩校	前 期	後 期
情報処理実習室 (4教室 [6215, 6218, 6254, 6256])	59時限/週	50時限/週
情報処理・LL教室 (5教室 [3225, 3230, 6315, 7217, 7237])	60時限/週	56時限/週
LL教室 (2教室 [3106, 6313])	2時限/週	15時限/週
狭山台校	前 期	後 期
情報処理教室 (1教室 [451])	12時限/週	15時限/週
CALL教室 (1教室 [456])	11時限/週	11時限/週

※上記時限以外に不定時の利用による授業支援あり

2) 視聴覚教室における授業への支援

- ・ 視聴覚教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
- ・ 視聴覚教室施設、設備の管理（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
- ・ 教員、職員、学生へ視聴覚教室施設・設備に対する取扱説明

3) 普通教室、実験・実習室における授業への支援

- ・ 視聴覚機器の貸出し・操作説明等 (定時、不定時)

4) スタジオ（含む、メディア制作ルーム）を利用する授業への支援

[支援内容]

- ・ スタジオ利用授業の機器操作指導・補佐、番組制作のための機器貸出し・操作指導
- ・ 設置機器の維持管理・保守点検
- ・ ビデオ編集作業の指導・補佐等

5) 遠隔授業に関する支援

- ・ネットワーク多摩提携講座遠隔授業実施（朝日新聞提携講座、NHK提供講座）
- ・首都圏西部単位互換共同授業撮影支援（後期）
- ・FD講演会（H21.7.16/H21.11.19） 千代田校（155教室） ←→多摩校（7114教室）

6) ヘルプデスク

サポート内容は以下の通りである。

- ・パソコン及びプリンタ等の設定及び不具合対応
- ・ネットワーク関連機器接続の設定及び不具合対応
- ・アプリケーションに関する導入支援、操作説明等
- ・ウイルス対策（ソフトウェア導入支援・操作説明、ウイルス駆除等）
- ・メール全般に関する支援（送受信、転送設定等）
- ・視聴覚教室等でのPC接続（出力設定、ネットワーク接続等）に関する操作説明
- ・視聴覚教室等におけるAV機器（操作卓等）の操作説明

7) 情報処理自習室の維持・管理及び学生指導

全学パソコン自習室の維持・管理、運用、学生指導を以下のように行っている。

千代田校	情報処理自習室（本館地下2階）PC席数：60席	
	期 間	平成21年4月1日～平成22年3月31日 月～土
	時 間	平日9：00～20：00 土曜9：00～17：00
	利用者数	延べ51,767名
多摩校	メディア制作ルーム（本館8階）PC席数：12席 AV席数：2席	
	期 間	平成21年4月1日～平成22年3月31日 月～土
	時 間	9：00～17：00
	利用者数	延べ3,092名
多摩校	情報処理自習室（図書館棟2階）PC座席数：60席	
	期 間	平成21年4月1日～平成22年3月31日 月～金
	時 間	通常9：00～16：10
	利用者数	延べ23,437名

※多摩校と狭山台校では、各情報処理教室などを授業で使用していない時間に自習用として開放している。

8) 視聴覚及び情報処理関係施設、設備の維持・管理・運用

詳細は巻末の資料参考

9) 授業以外への機器貸出し・操作説明など

学外団体関連、学内各科・各種団体関係（各学部学会・講演会等、各種講習会）、事務局関係（入学式、卒業式、オープンキャンパス、各種ガイダンス、入試関係、学園祭等）など授業以外への機器貸出しや操作説明を行っている。



2009年度 総合情報センター 〈メディア教育開発グループ〉 業務報告

2. 補完教育

平成13年度より各キャンパスで開始した「課外パソコン講習」「課外英語力強化プログラム」等の補完教育は平成20年度の組織改編後も引き継ぎ、平成21年度、両講座について立案、実施、運営を行った。

1) 課外英語力強化プログラム

この講座は学生が正規授業の履修状況にあわせて、毎日1コマ(40分)、週5日(年間100コマ)のスケジュール表を各自で作成し受講するプログラムで、毎回の講座の他に自由に会話ができるEC(English Challenge)の時間も用意されている。講座内容は、インタラクティブな活動を中心としたグループレッスン(12名前後)で構成されている。

平成21年度の担当講師は、北米(アメリカ、カナダ)、イギリスの出身者で、英語を母語としない人への英語教授資格(TESOL、TEFL、CELTA等)の有資格者である。そのほか年2回(前期1回、後期1回)TOEIC IPテストを実施している。

平成21年度の講座実績は以下のとおりである。

◆平成21年度受講者数

千代田	105 (16)
多摩	169 (21)
狭山台	83
合計	357 (37)

* () 内は継続者数

TOEIC IPテスト実施については各自の英語力を確認することを目的としている。目的達成のためなるべく多くの学生に受験してもらい、その後の講座出席に役立ててもらえるように講座開始と共に日程を決め募集をしている。また通常の講座とは別にECの時間を使って試験の傾向と対策講座などを実施している。

◆平成21年度TOEIC IP テストについて

	前期				後期			
	受験者数	平均点	500点以上の学生数	最高点	受験者数	平均点	500点以上の学生数	最高点
千代田	30人	396点	4人	555点	18人	426点	5人	715点
多摩	37人	417点	8人	655点	35人	414点	5人	760点
狭山台	10人	414点	2人	560点	11人	525点	7人	685点
合計	77人		14人		64人		17人	

2) 課外パソコン講習

平成21年度は、ビジネスアプリケーションであるWord、Excel、PowerPoint、Access等の講座に加え、近年徐々に注目が高まってきているパソコン検定(P検)講座を開講した。またその他にPhotoshop基礎講座、コミュニケーション能力養成講座、パソコン会計講座、医療事務コンピューター講座といった多様な講座も実施した。

通常、前期・後期とも平日の5時限以降か土曜日に実施しているが、これとは別に夏季、春季休業期間を利用した集中講座も実施した。また各講座の最終回には実技試験と知識試験を実施し、合格者には認定団体より認定書を発行している。

平成21年度の講座受講者及び受験状況は下記の通りである。

◆平成21年度受講者数(延べ数)

千代田	446
多摩	148
狭山台	28
合計	622 (488)

* () 内は資格取得者数



3. 教材制作

教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化を主に行っており、具体的には、ビデオ収録・編集、PC再生用のオーディオ・ビデオデータ制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化・データ変換などを行った。印刷関係ではカラーコピー・拡大印刷などを中心に作成を行った。

以下は、平成21年度各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数である。

教材制作依頼部署	内 容	年間制作数
千代田校 (8F)	音声関係	228本
	映像関係	751本
	PC関係 (紙原稿・スライド等のデジタルデータ化)	2,705点
	印刷関係 (うち拡大印刷)	4,392枚 633枚
千代田校 (3F)	音声関係	26本
	映像関係	89本
多 摩 校	音声関係	147本
	映像関係	209本
	印刷関係 (うち拡大印刷)	540枚 540枚
狭 山 台 校	音声関係	0本
	映像関係	10本

4. その他の業務

- 1) 入学試験関係業務
 - ・ 入学試験Listening問題録音、編集 ・ 前日の試験会場音響確認
 - ・ 当日の試験会場音響確認、問題再生
- 2) 私立大学情報教育協会 (私情協) 関係
 - ・ 各種研修会案内の学内配布、参加申込受付 ・ 総会、その他、上記団体主催による会合出席
- 3) 各種調査への対応
 - ・ 平成20年度学術情報基盤実態調査 (文科省)
 - ・ 平成21年度学術情報基盤実態調査 (文科省)
 - ・ 平成20年度私立大学情報化投資額調査 (私情協)
 - ・ 平成21年度私立大学高度情報化補助金活用調査 第1次調査「ICT活用推進事業」「教育基盤整備」、第2次調査「ICT活用教育研究支援」(私情協)
- 4) 各種研修会などへの参加
 - ・ 各種研修会、講習会 ・ 外国語教育メディア学会 (LET) など、関係学会
- 5) 学内行事、他
 - ・ 平成22年度事業計画予算申請
 - ・ 平成21年度入学式、卒業式関係業務 (舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など)
 - ・ 平成21年度学園祭関係業務 (打合せ、事前点検、機器貸出し、操作説明、事後点検など)
 - ・ 定期試験関係業務 (試験監督)
 - ・ 平成20年度沿革史原稿作成、提出
 - ・ ガイダンス用資料封入作業
 - ・ 各部署スタッフミーティング開催 (随時)
 - ・ 全部署合同ミーティング開催
 - ・ オープンキャンパスサポート (千代田)

2009年度 総合情報センター 〈メディア教育開発グループ〉 業務報告

多摩キャンパス パソコン事情

多摩キャンパスには、情報処理関係教室4教室、情報系機能と語学演習の機能を備えた教室6教室、計10教室と自習や課外講座のための情報処理自習室が1室あり、メディア教育開発グループで管理している。また、教室更新の際は、各学部から申請された事業計画に基づき、システムの構築、授業で必要とされるソフト、教室のレイアウトなど導入について検討を行っている。

平成22年2月、人間関係学部棟の情報処理・LL教室の更新を実施した。専門科目の実験等でPCを使用することも多く、什器（机）の色などは実験の妨げにならないよう配慮した。また、車いすを使用する学生にも使いやすいよう机の大きさ、高さ、移動に必要な通路の確保などレイアウトを考える上で検討を重ねた。語学演習用としてLL機能を備えたソフトも導入した。（写真①）



社会情報学部棟には情報関係教室が4教室、情報関係と語学関係の授業に使用できる教室が2教室ある。情報処理関係教室のうち1教室には学生がノートPCを持ち込んで使用できるスペースがある。そこでは持ち込んだPCのセキュリティチェックを各自で行い安全を確認できる機能を備えている。（写真②）



また語学演習のために設置してあるパソコンは従来のLL教室やCALL教室のようにLL専用のソフトを導入するのではなく、6313教室はPCを壁面に、6315教室は個々の机にノートパソコンを設置し、自由に移動ができ、様々な授業形態に対応できるようになっている。また、これらの教室はAV機器が常備されており、教室中央にはテーブル付きイスが配置されているので情報関係あるいは語学演習の授業以外にも多目的AV教室として使用することができる。（写真③、④）



比較文化学部棟にある情報処理・LL教室は対面式にパソコンを設置してある。情報処理関係授業とLL機能を備えたソフトを導入することで語学関係の授業も行うことができる。また、語学演習用e-learningソフトも導入されているので、授業あるいは自習用として多摩キャンパスの学生は誰でも自由にそのソフトを使用して自学自習をすることができる。（写真⑤）

これらの教室は授業で使用している以外の空き時間は自習できるように開放している。全ての教室がネットワークで繋がっているため、どの棟、どこの教室にいても同じ環境で授業の予習復習、課題や論文作成、インターネット検索など自由に組み立てることができる。また各学部の教室以外にも図書館棟には情報処理自習室があり、3学部共通の自習室として開放している。



学生生活において、パソコンは様々な活用方法がある。今後ますます情報がデジタル化されていく中で、その状況に適した環境作りに努めて行きたいと思っている。

2009年度 総合情報センター決算報告

2009年度 総合情報センター決算報告

総合情報センターは、平成21年度経常予算として20,320,000円を申請し承認された。内、図書館グループは5,900,000円、メディア教育開発グループは3キャンパス4部署で14,420,000円の配分とした。主な執行内訳は、図書館グループでは、備品として展示ケース、閉館休館案内サインボードなどの購入、消耗品としてはバーコード用、ライブラリー用ラベル、雑誌の保管・保存のためのバックナンバー製本費等であった。

メディア教育開発グループは各キャンパスとも授業貸出用機器として需要が増加しているノートパソコンやDVDあるいはBDプレーヤ、教材制作及び記録用としてデジタルカメラ、事務処理用としてのパソコン、プリンター等を購入した。

平成21年度の決算の執行状況は下記の通りである。

(単位：円)

	図書館 グループ	メディア教育開発グループ				決 算	予算額合計
		千代田 (8F)	千代田 (3F)	多 摩	狭山台		
機器・備品費	503,650	1,174,845	2,089,995	544,632	1,291,500	5,604,622	6,300,000
消 耗 品 費	1,675,413	2,957,565	1,279,601	2,054,104	1,153,563	9,120,246	7,435,000
修 繕 費	314,104	16,800	0	42,651	9,450	383,005	1,550,000
雑 費	335,062	340,337	212,567	42,418	16,092	946,476	1,500,000
ソ フ ト 費	0	19,530	327,694	492,159	421,425	1,260,808	1,400,000
通 信 費	743,280	30,589	30,671	29,250	29,187	862,977	985,000
印刷・製本費	1,476,981	70,000	73,237	70,000	70,000	1,760,218	2,100,000
賃 貸 借 費	0	0	0	195,804	0	195,804	200,000
予算戻り分	0	▲892,949	0	0	0	▲892,949	▲1,150,000
合 計	5,048,490	3,716,717	4,013,765	3,471,018	2,991,217	19,241,207	20,320,000
		14,192,717					



2010年度 総合情報センター事業計画予算 採択結果について

2010年度 総合情報センター事業計画予算 採択結果について

平成22年度事業計画として図書館グループは、「メディアルーム学生用PC及びサーバーのリプレイス」、「メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス」の2件が承認された。しかし「図書館所蔵 貴重書のデジタル化」を早急に行う必要があるため、「メディアルーム学生用TVモニターリプレイス」計画の予算付け替えとして稟議に諮り、承認され貴重書のデジタル化を実施することになった。

メディア教育開発グループは、3件承認された。多摩校図書館棟情報処理自習室については、当初更新を予定していたが、キャンパス内におけるOSバージョン統一の観点から再リースとした。「千代田校本館8階メディア制作コーナーPC更新」は、情報処理関連授業の自習や動画編集用として使用しているPCで、導入後5～8年を経過し、老朽化による支障が懸念されるため申請を行った。また、「教育系統合認証システムの仕様変更」は、システム管理室起案の全学統合認証システム更新に伴い、教育系認証システムにも設定変更が必要となるため、当グループより申請を行った。

「経常費」扱いの増減では、千代田校情報処理教室（232, 235）及び自習室（本012）の保守料が経常費扱いとなった。多摩校社会情報学部棟情報処理実習室のサーバー保守料は無償保証期間終了に伴い増額となった。また、昨年8月まで使用していた図書館システムCALISの業務サーバーリプレイスリース料、千代田校情報処理教室（271）及び多摩校情報処理自習室（4264）のリース料がそれぞれリース満了となるため減額された。

「図書館メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス」と「千代田校A棟視聴覚教室（254, 257教室）視聴覚設備更新」は平成22年度予算での執行は承認されなかった。

平成22年度事業計画申請項目は下記の通りである。

1. 平成22年度予算での執行が承認された項目

(単位：円)

件名	予算額
1. 千代田校 図書館 メディアルーム学生用PC及びサーバーのリプレイス	6,804,000
2. 図書館所蔵 貴重書のデジタル化 (稟議により予算付け替え)	810,000
3. 多摩校 図書館棟情報処理自習室 (4264室) パソコン更新 (再リース)	621,000
4. 千代田校 本館8階メディア制作コーナーPCの更新	3,045,000
5. 教育系統合認証システム仕様変更	24,100,000
合計	35,380,000

「経常費」(扱い)の増・減

(単位：円)

件名	22年度支出額	備考
1. 千代田校 情報処理教室(232, 235)・自習室(本012)保守	4,657,000	H22年度から経常費化
2. 多摩校 社会情報学部棟情報処理実習室保守料増額	2,877,000	無償保証期間終了のため増額
3. 図書館 CALIS業務サーバーリプレイスリース料	△3,538,500	リース満了に伴う減額
4. 千代田校 情報処理教室 (271) システムリース料	△7,208,250	リース満了に伴う減額
5. 多摩校 情報処理自習室(4264室) PC ハード・ソフトその他リース料	△8,284,500	リース満了に伴う減額

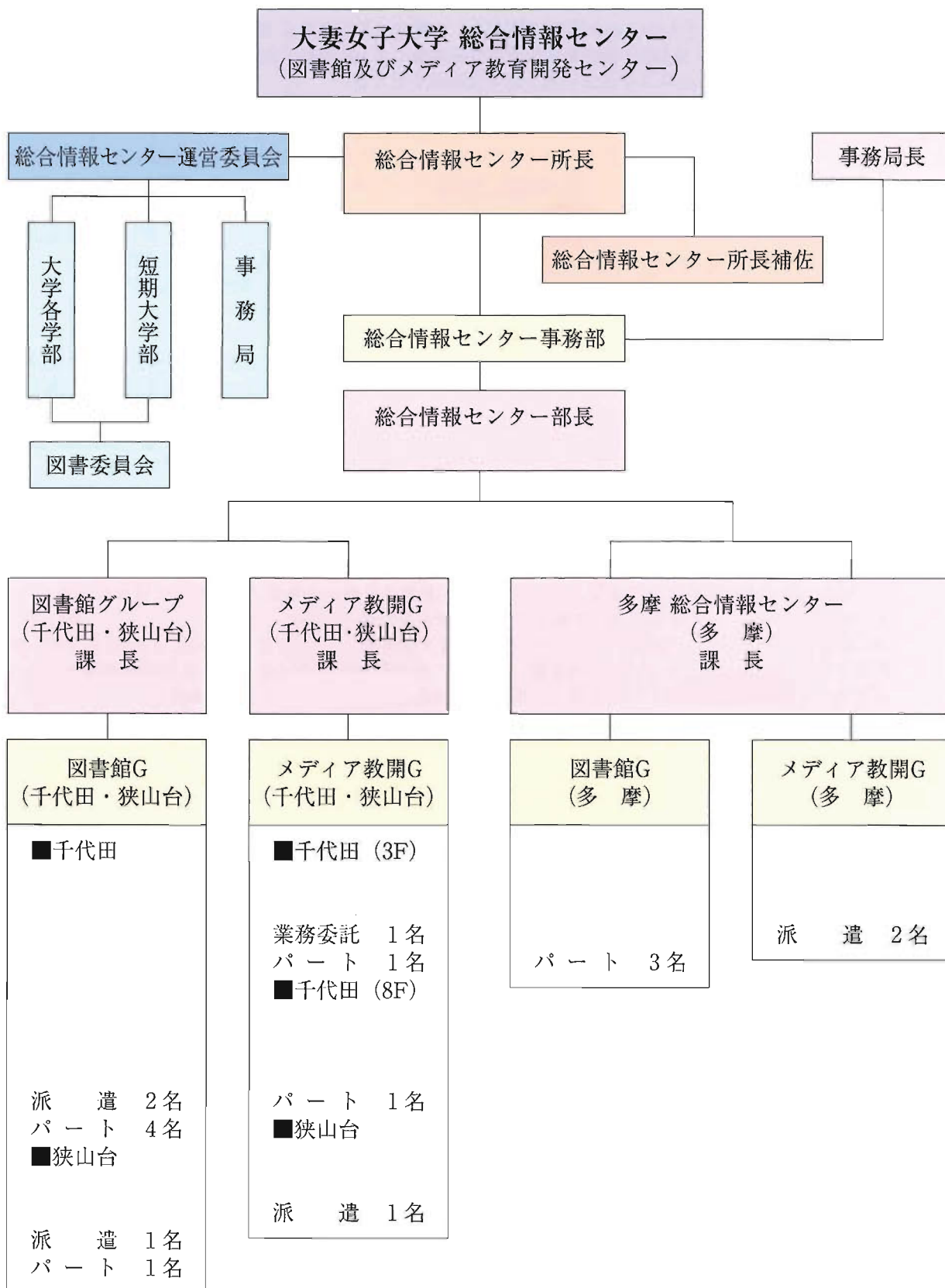
2. 平成22年度予算での執行が承認されなかった項目

(単位：円)

件名	予算額	備考
1. 千代田校 図書館メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス	819,000	稟議により予算の付け替え
2. 千代田校 A棟視聴覚教室 (254, 257教室) 視聴覚設備更新	15,785,700	

2009年度 総合情報センターの組織とスタッフ

2009年度 総合情報センターの組織とスタッフ



大妻女子大学 総合情報センター規程

平成20年5月29日制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学学則（昭和48年4月1日制定）第39条第3項及び大妻女子大学短期大学部学則（昭和49年4月1日制定）第39条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部（以下「大学及び短期大学部」という。）共通の附属施設として、教育・研究に必要な図書、電子情報、その他各種資料（以下「図書資料」という。）を収集、所蔵し、教職員、学生等の利用に供するとともに、情報メディア環境を活用した教育・学習活動等への支援と、そのために必要な開発業務を行うことをもって、本学の教育・研究の充実に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 図書資料の収集、組織化、保管、利用者への提供、及び図書館間の相互利用に関する業務
- (2) 大学及び短期大学部、並びに学校法人大妻学院（以下「学院」という。）が関与する著作権に関する業務
- (3) 大学及び短期大学部教員に関する教育・研究用データベースの構築と教育・研究用外部資金確保に関する業務
- (4) 情報メディア教育システムの企画・開発、維持・管理、安定的な運用及びセキュリティ維持に関する業務
- (5) ネットワークなどの情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援とそれらに必要な開発業務
- (6) 教職員に対する情報処理及び情報メディア教育関連の講習に関する業務
- (7) 学生に対する情報処理及び情報メディア等の補完教育の計画、立案並びにこれらに関する業務
- (8) 学院の要請による情報処理及び情報メディアに関する業務
- (9) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務

2 前項の業務を行うため、センターに図書館とメディア教育開発センターの2施設及び総合情報センター事務部（以下「事務部」という。）を置く。事務部に図書館グループとメディア教育開発グループを置く。

(組織構成)

第4条 センターの組織は、次の構成とする。

- 2 センターに所長を置く。所長は、本学専任教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。
- 3 所長に事故のあるときは、所長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
- 4 センターに所長補佐を置くことができる。
- 5 事務部に、部長、課長、その他の職員を置く。
- 6 所長は、事務部を統轄し、センターの業務を掌理する。

(運営委員会)

第5条 センターの管理・運営の円滑化、効率化を図るため、センター運営委員会を置く。

- 2 センター運営委員会の規程は、別に定める。

(運営細則への委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、センターの管理・運営について必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て理事会において定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月29日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館規則（昭和60年4月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター規程（平成13年5月25日制定）は、廃止する。

大妻女子大学 総合情報センター 運営委員会規程

大妻女子大学 総合情報センター 運営委員会規程

平成20年6月13日制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学総合情報センター規程（平成20年5月29日制定）第5条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 総合情報センター（以下「センター」という。）の運営の方針及び大綱に関する事項
- (2) センター規程及びセンター運営委員会規程等の改廃に関する事項
- (3) センターの運営に関する予算の大綱に関する事項
- (4) 図書資料収集と管理の基本方針に関する事項
- (5) 情報処理及び情報メディア教育に関する施設設備の整備に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター所長
 - (2) 各学部長
 - (3) 各学部及び短期大学部から選出された専任教員 各2名
 - (4) 事務局長、教育・学生支援センター部長、多摩事務部長及び狭山台校事務長
 - (5) センター事務部部長、課長
 - (6) その他所長の委嘱する者 若干名
- 2 前項第3号及び第6号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

- 2 委員長は、センター所長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、センター事務部において処理する。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定める。

附 則

- 1 この規程は平成20年6月13日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館運営委員会規程（昭和60年6月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター運営委員会規程（平成13年5月25日制定）は、廃止する。
- 3 平成20年度については、従前の図書館運営委員と情報メディアセンター運営委員を、本規程第3条第3号の委員とする。

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
昭和24年 (1949年)	初代館長 清水 福市 (S24.4-S45.9)	4月 大妻女子大学の新制大学移行と同時に発足 旧校舎2階に設置 閉架閲覧方式		大妻女子大学設置 (家政学部被服学科・食物学科・家庭理学科・別科)
昭和32 (1957年)		3月 書庫充満のため書架増設		
昭和42年 (1967年)		4月 狭山台校開学 狭山台校分館発足 校舎3階	文学部英文学科内に音声言語教育のための機器、教材整備・充実のため「LL研究室」設置	狭山台校開設 文学部国文学科・英文学科、短期大学部国文科、英文科設置
昭和43年 (1968年)				大妻女子大学創立60周年記念式典挙行 (日本武道館)
昭和44年 (1969年)				
昭和45年 (1970年)	館長 加藤 菊雄 (S45.9-S49.3)	9月 千代田校本館完成図書館も本館1～2階に移動 開架閲覧方式に移行、学生用複写機稼動	教育・研究への視聴覚的手法導入に対する熱意の高まりにより、全学的組織「視聴覚教育専門委員会」開催	千代田校舎図書館棟新築完成 図書館研究室本館新築
昭和46年 (1971年)	初代所長 天野 一夫 (S46.4-S49.3)		「視聴覚教育センター」設立 設立に伴い「視聴覚教育専門委員会」を「視聴覚教育運営委員会」に改称。各学部で管理していた視聴覚機器を視聴覚教育センターで一元管理する。	
昭和47年 (1972年)			AAC型LL(フルラボ・オープンテープ型ブース)教室設置—LL授業開始	
昭和48年 (1973年)			千代田校に【教材制作部】【サービス部】、狭山台校に【サービス部】を設置	千代田校記念会館竣工
昭和49年 (1974年)	館長 廣田 榮太郎 (S49.4-S49.5) 館長 黒田 謙 (S49.11-S50.3) 所長 渡辺 修 (S49.4-S59.3)		授業にビデオ教材を使用するため貸出用機器の充実	
昭和50年 (1975年)	館長 吉田 精一 (S50.4-S51.3)		16ミリ発声映写機操作講習会実施	
昭和51年 (1976年)	館長 黒田 謙 (S51.4-S53.3)			
昭和52年 (1977年)				
昭和53年 (1978年)	館長 小幡 弥太郎 (S53.4-S56.3)	狭山台校分館 増築増床		大妻女子大学創立70周年記念式典挙行 (日本武道館)
昭和54年 (1979年)				
昭和55年 (1980年)				
昭和56年 (1981年)	館長 吉田 精一 (S56.4-S59.3)			大妻女子大学人間生活科学研究所設置
昭和57年 (1982年)			千代田校AAC型LL教室をカセット型に改修	
昭和58年 (1983年)		5月 狭山台校分館 保存書庫竣工		狭山台校保存書庫棟竣工
昭和59年 (1984年)	館長 仙波 千代 (S59.4-S63.3) 所長 仙波 千代 (S59.4-S60.3)		狭山台校AAC型LL教室をカセット型に改修	
昭和60年 (1985年)	所長 磯田 浩 (S60.4-S61.3)			
昭和61年 (1986年)	所長 仙波 千代 (S61.4-S63.3)		「情報処理・視聴覚教育センター」に名称変更	千代田校A棟、大妻体育館竣工
昭和62年 (1987年)				
昭和63年 (1988年)	館長 加藤 憲一 (S63.4-H2.3) 所長 坂下 潔 (S63.4-H5.3)	4月 多摩校開学 図書館棟4階に多摩校分館発足	多摩キャンパス開校に伴い 情報処理・視聴覚教育センター【サービス部】設置 多摩校でパソコン使用の授業が始まり情報処理関係教室の管理実施。 LL教室1教室、情報処理教室1教室、スタジオ等設置	多摩校開設 短期大学部 (生活科、日本文学科、実務英語科)設置 千代田校B棟竣工
平成元年 (1989年)				大妻女子大学創立80周年記念式典挙行 (日本武道館)
平成2年 (1990年)	館長 隈部 直光 (H2.4-H4.3)			千代田校旧校舎閉鎖 C棟竣工
平成3年 (1991年)			千代田校教養科目「情報処理概論」の授業開講のためサポート開始	

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
平成4年 (1992年)	館長 伊藤 博 (H4.4-H8.3)	9月 学長の諮問により、図書館及び情報処理・視聴覚教育センター合同運営委員会を開催し、情報処理・視聴覚教育センターの改革案を審議する。結果、情報処理・視聴覚教育センターサービス部門と社会情報学部計算機室を合併、「情報処理教育センター」とする。千代田校の教材制作部は「教育工学開発室」とする。図書館は現スタッフのレベルアップをはかりながら、視聴覚資料の整備、情報システムを活用した他大学との学術情報交流を推進する。		社会情報学部社会情報学科設置 千代田校D棟、大妻講堂竣工
平成5年 (1993年)	所長 磯田 浩 (H5.4-H6.3) 初代室長 伊平 保夫 (H5.4-H12.3)	社会情報学部棟内にLAN敷設	「情報処理教育センター」設立 2部門4部署 千代田校・狭山台校にサービス部門、多摩校に計算機部門・サービス部門を設置 「教育工学開発室」設立(千代田校)	
平成6年 (1994年)	所長 野崎 昭弘 (H6.4-H8.3)	4月 図書館ネットワーク開始 8月 千代田校本館1階改修工事 10月 卒論・卒研のための図書館利用指導開始		
平成7年 (1995年)		2月 千代田校本館2階改修工事 視聴覚コーナー設置 4月 図書館ツアー等の利用指導開始 7月～電算化CALISシステム事務用本稼働		
平成8年 (1996年)	館長 野崎 昭弘 (H8.4-H10.3) 所長 白川 利昭 (H8.4-H12.3)	4月 CALIS閲覧システム本稼働・BDS装置3館に設置 5月 狭山台校分館新図書館開館(旧研究棟を改修)	多摩校・千代田校ダイヤルアップ接続“KOTAKA-net”開始	狭山台校図書館棟竣工
平成9年 (1997年)			情報処理教育センター主催による英検対策講座、パソコン対策講座開催(千代田校)	
平成10年 (1998年)	館長 江本 裕 (H10.4-H14.3)		千代田校C棟情報処理実習室“KOTAKA-net”へ接続	大妻女子大学創立90周年記念式典挙行 (東京国際フォーラム) 人間関係学部 (人間関係学科、人間福祉学科)、 比較文化学部(比較文化学科)設置 多摩校学生会館竣工 草稿・テキスト研究所設立
平成11年 (1999年)				
平成12年 (2000年)	所長 村上 弘幸 (H12.4-H15.3) 室長 村上 弘幸 (H12.4-H13.3)	多摩校分館改修増床 3階～4階を図書館に		
平成13年 (2001年)			「情報メディアセンター」設立 情報処理教育センターと教育工学開発室が合併改組する千代田校に学習支援部門・教材制作部門、多摩校に計算機部門・学習支援部門、狭山台校に学習支援部門を設置 補完教育「課外パソコン講習」「課外英語力強化プログラム」をセンター所管のもと開始	ネットステーション導入
平成14年 (2002年)	館長 栗原 裕 (H14.4-H16.3)	千代田校大校舎-新図書館棟 NTTスーパーワイドLANで接続	千代田校に情報メディアセンター 計算機部門設置	家政学部ライフデザイン学科、文学部コミュニケーション文化学科設置
平成15年 (2003年)	所長 玉井 浩 (H15.4-H19.3)	1月 千代田本館新図書館棟に移転 地下2階～地上4階を図書館に入退館システム導入 地下1階にメディアコーナーを設置 パソコン40台と視聴覚コーナー設置	千代田校に情報メディアセンター 計算機部門設置 各キャンパス各教室情報コンセントで“KOTAKA-net”接続開始	千代田校短期大学部家政科第二部廃止 家政学部、文学部2年生履修地狭山台校から千代田校に変更
平成16年 (2004年)	館長 渡部 満彦 (H16.4-H20.3)	4月 文系共同図書室 千代田校図書館4階に仮設置		
平成17年 (2005年)			統合認証システム稼働	事務組織にグループ制導入 大妻学院将来構想検討委員会発足
平成18年 (2006年)				生活科学資料館設置
平成19年 (2007年)	所長 伊藤 朋恭 (H19.4-H20.3)			
平成20年 (2008年)	所長 栗原 裕 (H20.4～)	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。[計算機部門]の一部と[教材制作部門][学習支援部門]は[メディア教育開発グループ]となる。また計算機部門業務の一部はIT化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」となる。		大妻学院創立100周年
平成21年 (2009年)		「総合情報センター」設立 [千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ] [千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ]		
		「システム管理室」設立 9月 CALISシステムから新システムF-CatsLibraryへ移行		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【千代田キャンパス－大学校舎、本館】

階	棟	施設仕様	教室	収容数	施設タイプ/特記事項
1 F	A棟	視聴覚教室	150	315名	操作卓仕様、特注システム ※150, 155, 157, 164, 166, 250, 252, 264教室間はネットワークで結ばれ、映像、音声配信可 150教室のみプロジェクタ、プラズマTV(教室後方)両用による提示可
			155	168名	
			157	132名	
			164	135名	
			166	107名	
	C棟	モニターTV教室	182	90名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 2台)
2 F	A棟	視聴覚教室	250	80名	操作ラック仕様、特注システム、液晶TV
			252	150名	操作卓仕様、特注システム
			254	150名	操作ラック仕様、特注システム
			257	150名	
			264	135名	操作卓仕様、特注システム、プラズマTV
			266	107名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
	B棟	情報処理教室	232	68名	Comschool仕様個別指導、教材一斉配信、回収可
			235	32名	CADシステム、大判プリンタ、製図台設置
		モニターTV教室	242	79名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
			246	78名	
	C棟	CALL教室	271	64名	デジタル、アナログ両タイプLL授業可
モニターTV教室		281	32名	[ゼミ室]VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)	
		282	28名		
3 F	A棟	モニターTV教室	357	42名	[ゼミ室]VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
		視聴覚教室	366	168名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
	C棟	情報処理教室	370	60名	PC@LL仕様個別指導、教材一斉配信、回収可
			373	60名	OS: WindowsXP
4 F	A棟	視聴覚教室	450	72名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
			455	108名	操作ラック仕様、既成システム
			457	108名	
			464	135名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
			466	107名	操作ラック仕様、既成システム
5 F	A棟	視聴覚教室	553	108名	操作ラック仕様、既成システム
			555	108名	
			557	108名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
			564	72名	
		モニターTV教室	565	72名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
			567	71名	
6 F	A棟	視聴覚教室	653	108名	操作ラック仕様、既成システム
			655	108名	
			657	108名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
			664	72名	
地1	校舎地下アトリウム		音響システム装置 (反響の少ないラインアレイスピーカシステム設置)		
地2	本館	情報処理自習室	012	60名	OS: WindowsXP
1F		モニターTV教室	101	81名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
8 F		スタジオ	801	—	映像・音声調整卓 (アナログ) 設置
		メディア制作ルーム	801	12名	学生によるコンテンツ製作用施設

【千代田キャンパス－図書館棟】

階	施設仕様	座席数	施設タイプ／特記事項
地下	PCコーナー	40席	プリンター3台
1F	AVブース	27席	ビデオ・DVD・CD
1F	事務室、メインカウンター、検索コーナー、新着本コーナー、展示ケース、他		
2F	閲覧席	109席	
	開架書架、レファレンスカウンター、大型本、参考図書、検索・コピー各コーナー、他		
3F	閲覧席	122席	
	個人用ブース	3席	
	開架書架、レファレンスカウンター、絵本、検索・カラーコピー各コーナー、他		
4F	閲覧席	81席	
	グループ閲覧室	30席	
	閉架書庫、新着雑誌、寄贈雑誌、新聞、検索・コピー各コーナー、他		

【狭山台キャンパス－1号館、2号館】

階	棟	施設仕様	教室	収容数	施設タイプ／特記事項
1F	2号館	視聴覚教室	154	336名	操作卓仕様、特注システム
2F	1号館	モニターTV教室	201	53名	202室から移動設置可
			202	40名	VHS、DVD再生可（29inchモニターTV1台）
			203	40名	VHS、DVD、PC使用可（42inchモニターTV1台）
			204	49名	VHS、DVD再生可（29inchモニターTV1台）
	2号館	視聴覚教室	205	164名	操作ラック仕様、特注システム、BD再生可
			206	164名	
			208	210名	操作タック仕様、特注システム
			209	140名	
2号館	モニターTV教室	251	79名	VHS、DVD再生可（25inchモニターTV2台）	
		253	78名	VHS、DVD再生可（29inchモニターTV2台）	
3F	1号館	モニターTV教室	302	56名	VHS、DVD再生可（29inchモニターTV1台）
			303	56名	VHS、DVD、PC使用可（42inchモニターTV1台）
			304	40名	VHS、DVD再生可（29inchモニターTV1台）
			305	49名	304室から移動設置可
4F	2号館	モニターTV教室	452	129名	VHS、DVD再生可（25inchモニターTV2台）
		情報処理教室	451	76名	Comschool仕様個別指導、教材一斉配信、回収可
		CALL教室	456	64名	PC@LL仕様個別指導、教材一斉配信、回収可

【狭山台キャンパス－図書館棟】

階	施設仕様	座席数	施設タイプ／特記事項
1F	閲覧席	44席	
	AVコーナー	21席	ビデオ・LD・DVD・CD
	事務室、PC、開架書架、参考書架、新着雑誌コーナー、検索・コピー各コーナー、他		
2F	閲覧席	78席	
	キャレル	20席	
	開架書架、検索コーナー、他		
3F	キャレル	8席	
	閉架書庫、他		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【多摩キャンパス】

棟	階	施設仕様	教室	収容数	施設タイプ/特記事項
比較文化学部棟	1F	視聴覚教室	3100	120名	操作卓仕様、特注システム
		LL教室	3106	60名	
		視聴覚教室	3122	240名	操作卓仕様、特注システム (43inchプラズマTV 2台)
			3127	132名	操作卓仕様、特注システム
	3130		130名		
	2F	モニターTV教室	3200	66名	操作ラック仕様、既成システム (29inchモニターTV 2台)
			3203	28名	(ゼミ室) VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
			3206	57名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
		視聴覚教室	3208	57名	操作ラック仕様、既成システム
			3220	69名	操作ラック仕様、既成システム
		モニターTV教室	3223	57名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
		情報処理・LL教室	3225	60名	CalaboEX
			3230	50名	OS: WindowsXP
	3F	モニターTV教室	3300	84名	操作ラック、既成システム (29inchモニターTV 2台)
			3303	28名	(ゼミ室) 操作ラック、既成システム仕様 (42inchプラズマTV 1台)
			3306	57名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
		視聴覚教室	3308	57名	操作ラック仕様、既成システム
			3320	69名	操作ラック仕様、既成システム
		モニターTV教室	3323	57名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
		視聴覚教室	3329	39名	(ゼミ室) 操作ラック仕様、既成システム
モニターTV教室		3331	39名	(ゼミ室) VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)	
図	2F	情報処理自習室	4264	60名	OS: WindowsXP
社会情報学部棟	1F	視聴覚教室	6113	325名	操作卓仕様、特注システム (43inchプラズマTV 2台)
			6153	175名	操作卓仕様、特注システム
	2F	情報処理実習室	6215	72名	Comschool 個別指導、教材一斉配信、回収可 OS: WindowsXPとSUSE Linux Enterprise Desktopのデュアルブート
			6218	72名	
			6254	64名	
			6256	64名	
		視聴覚教室	6213	125名	操作ラック仕様、既成システム、BD再生可
			6220	125名	操作ラック仕様、既成システム
	6250	125名	操作卓仕様、特注システム		
		6252	80名	操作卓仕様、特注システム (29inchモニターTV 2台)	
	6253	80名			
	3F	LL教室	6313	45名	OS: WindowsXP (PC40台)
情報処理・LL教室		6315	36名	Comschool (PC42台) 個別指導、教材一斉配信、回収可 OS: WindowsXPとSUSE Linux Enterprise Desktopのデュアルブート	
視聴覚教室		6320	175名	操作卓仕様、特注システム	
人間関係学部棟	1F	視聴覚教室	7114	151名	操作卓仕様、特注システム、BD再生可
			7127	300名	
	2F	視聴覚教室	7214	151名	操作卓仕様、特注システム、BD再生可
			7217	64名	CalaboEX
		情報処理・LL教室	7237	64名	OS: WindowsXP
			7247	110名	操作卓仕様、特注システム、BD再生可
		視聴覚教室	7262	52名	操作ラック仕様、既成システム
			7283	33名	操作ラック仕様、既成システム (42inchプラズマTV 1台)
		視聴覚教室	7284	52名	操作ラック仕様、既成システム
		モニターTV教室	7286	52名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
	3F	モニターTV教室	7313	52名	VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
			7315	52名	
		視聴覚教室	7318	110名	操作ラック仕様、既成システム
			7338	110名	
7348			110名		
7348			110名		

棟	階	施設仕様	教室	収容数	施設タイプ/特記事項
人間関係学部棟	3F	モニターTV教室	7368	36名	(ゼミ室) VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
			7381	36名	
			7382	36名	
			7383	36名	
			7384	36名	(ゼミ室) VHS、DVD再生可 (43inchプラズマTV 1台)
			7385	36名	
			7386	36名	(ゼミ室) 操作ラック、既成システム仕様 (42inchプラズマTV 1台)
			7387	36名	(ゼミ室) VHS、DVD再生可 (29inchモニターTV 1台)
7388	36名				

【多摩キャンパス-図書館棟】

階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項
3F	閲覧席	106席	PC12台、プリンター1台、ビデオ・DVD・CD 事務室、メインカウンター、新着雑誌、新聞、閉架書庫、検索・コピー各コーナー、他
	メディアルーム	30席	
	キャレル	6席	
4F	閲覧席	143席	開架書架、大型本、参考図書、検索コーナー、閉架書庫、他
	学習室	54席	
	キャレル	6席	
	キャレル	6席	



2009年度 総合情報センター 運営委員

総合情報センター所長

家 政 学 部

文 学 部

社会情報学部

人間関係学部

比較文化学部

短期大学部

所長の委嘱する委員

事 務 局

(事務局長)

(教育・学生支援センター教育支援グループ担当部長)

(教育・学生支援センター学生支援グループ担当部長)

(多摩事務部長)

(狭山台事務長)

総合情報センター

(部長)

(図書館グループ課長)

(メディア教育開発グループ課長)

(多摩総合情報センター課長)



大妻女子大学 **総合情報センター年報**
第2号 (2009年度)

2010年7月29日発行

編集・発行 大妻女子大学 総合情報センター

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
TEL 03-5275-6013 (図書館)
TEL 03-5275-6085 (メディア教育開発センター)

印刷 勝美印刷株式会社
